

# CADENZA

VOI.  
45

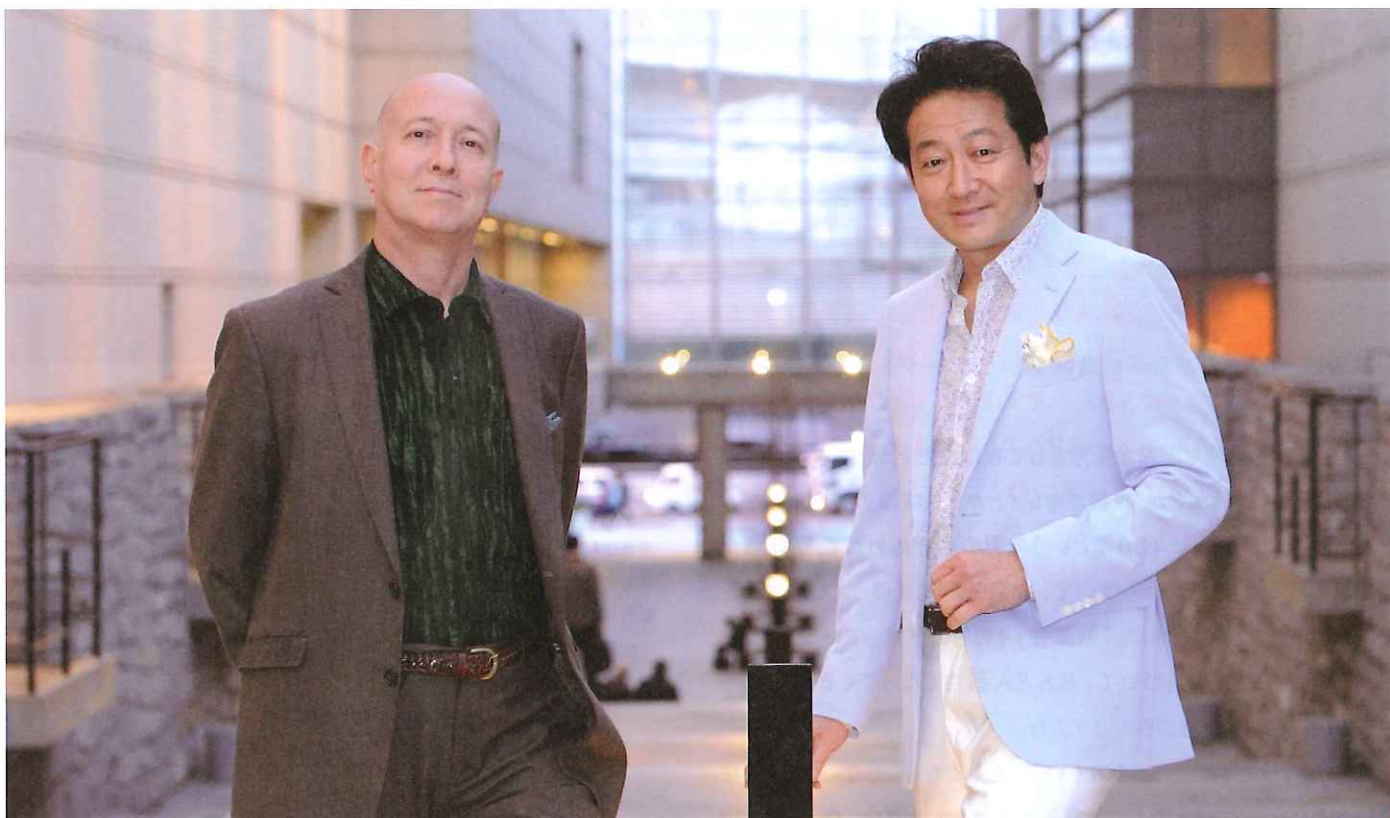
石川県立音楽堂 & オーケストラ・アンサンブル金沢 情報誌 カデンツァ

特集 プロが教える歌舞伎の魅力



# エッジピープル

Vol.3 辰巳琢郎さん



**井上道義** オーケストラ・アンサンブル金沢 音楽監督

井上—辰巳さんは、石川県とゆかりが深いんだよね。

辰巳—父親は片山津、母親は安宅の出身で、実は僕も小松市内の病院で生まれました。「百万石まつり」で馬にまたがりパレードしたり、『利家とまつ』への出演や、2001～2004年の“金沢冬祭り大使”など、とても縁のある土地ですね。

井上—僕は辰巳さんが出演しているTV番組『辰巳琢郎の家物語～リモデル★きらり』が好きなんだ。辰巳さんは、各地の観光大使を歴任していて目が肥えているだろうし、金沢への理解もあるから、ぜひ金沢をリフォームしてほしいな(笑)。

辰巳—金沢に限らず、石川県にはすごいポテンシャルがありますが、それらがうまく表に出ていないので、本当にもったいないですね。元々は娑婆羅という言葉が似合う革新的な文化があったはずですが、どこか現状に満足している感じがします。でも今以上に、人や注目を集めるためには、金沢駅のように世界標準のキレイのあるものをもっと必要です。

井上—京都ほど大なる遺産がないなら、これから創ればいいんだよ。素材はたくさんあるんだから、できないことじゃない。面白いアイデアがある人たちが、もっといろんなことをやれるようにならないと、金沢のリフォームは完成しないよね。

**辰巳琢郎さん** 俳優

1984年京都大学文学部卒業。知性・品格・遊び心と三拍子揃った俳優として活躍中。自ら企画した『辰巳琢郎の葡萄酒浪漫』(BSジャパン)『辰巳琢郎の家物語～リモデル★きらり』(BS朝日)が好評。クランクジャパンにて『クランク新時代』のナビゲーターも務める。観光庁アドバイザー。著書に「ゼロから始めるワイン入門」他。

辰巳—面白いプロデューサーがたくさん出てきてほしいなあ…。金沢にはどこか突き抜けられない部分があって非常にもどかしい(笑)。そんな中で道義さんが、金沢でラ・フォル・ジュルネをやっているのは、本当にうれしいですね。ちょっと気取った部分があるラ・フォル・ジュルネに、たくさん“遊び”を入れているのも、新しく面白。

井上—日本各地、そして世界に、もっと金沢の文化を発信しないとね。辰巳さんとOEKで何かできないかなあ。

辰巳—先日、僕も参加している「六本木男声合唱団倶楽部」が、文枝師匠の襲名披露公演の大千秋楽で、コラボレーションをしたんです。文枝師匠が創作落語「滝廉太郎物語」を演じ、その一席の中に合唱が入るといものなんですけど、あれをOEKとやるなんて、いかがですか？

井上—いいね！ 伝統芸能である落語に革命を起こした文枝師匠の“攻めの演目”を金沢という文化都市でやるというのも、面白い。ぜひ次のフェスティバルでやろうよ。

辰巳—では、次は金沢でお会いしましょう！